

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000266
事業所名	愛の家グループホーム豊田松ヶ枝

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	商業地区にホームが立地するため、人家が少ないことから、ホームから出かけることでホームを知ってもらえるように取り組んでいる。隣のドラッグストアは特に頻回に利用し、利用者の馴染みとなっている。「今年はホームから外へ出で行く年」としている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	制度に沿った適切な運用がある。ホームの活動報告を中心に、意見交換を行う場として活用している。出席者から地域の行事等の情報を得ている。地域包括支援センターや民生委員とは、地域の高齢者に関する情報交換も行っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	地域包括支援センターの勉強会には積極的に参加している。今年度は地域包括支援センター・民生委員からの声掛けがあり、認知症高齢者の徘徊模擬訓練に職員3名が参加した。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	平日に2、3組は家族の来訪がある。来訪時には職員が家族とコミュニケーションを図り、訪問しやすい雰囲気をつくりだしている。運営推進会議への参加、ホーム便り等でも、利用者の様子を情報提供し、意見や意向、提案等が出しやすいように配慮している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	-	-	-	-	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。